

様式第7号（第21条関係）

番号  
令和7年6月30日

佐賀県県民協働課長様

住所 佐賀県神埼市神埼町城原2518-2  
団体名 一般社団法人きばる塾  
代表者職・氏名 代表理事 副島 志郎  
電話番号 0952-52-3325

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による  
寄附金活用実績報告書

令和6年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

令和6年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

1 団 体 名 : 一般社団法人きばる塾

2 事 業 実 施 期 間 : 令和6年4月1日 から 令和7年3月31日

3 事 業 の 背 景 (※事業計画書から転記)

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像

行政だけに頼るのではなく、共助の精神を持ち身の丈に合った地域住民で自ら考えて地域内の交通弱者が家に引き籠る傾向にある課題を解決する手段としての外出先として  
①地域企画のオリジナルタクシーの運行②地域内の休耕畠活用で花畠（外での憩いの場）運営等に対する支援向上を目指す。

4 事 業 の 成 果

①県民の便益にどのようにつながったのか

買い物ツアー（3回実施）は3回とも車内は満席となり、「買い物」のみが目的ではなく、その後の「食事」や「花見」との組み合わせが、独居老人には特に好評である。  
マスコミ報道により他団体からの問い合わせが続いている。

②佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ）

兵庫県芦屋市において乗合タクシー事業計画が近年幾多の課題で暗礁に乗りかかっていたが、「法人きばる塾」の活動内容（取り組み）が刺激となり、昨年より運行がやっとできるようになったと前芦谷市議会長（松本氏）より情報を頂いた。

5 寄 附 金 活 用 事 業 実 績 : (別記1)

6 次 年 度 繰 越 額 活 用 見 込 み : (別記2)

7 寄 附 金 活 用 額 : (別記3)

(別記1) 寄附金活用事業実績

○寄附金を活用して行った事業 (GCFを行った場合は、GCF名とその内容を記載)

事業名	具体的な事業内容 ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所	事業費の 支出金額 [単位：円]	うち寄附金 活用額 [単位：円]
交通弱者支援事業 A	①交通弱者への金銭的支援事業 ②地域の65歳以上の者及び緊急対応者 ③既存乗合タクシーが配車できない地域住民への援助と均一100円の仕組みの導入	①4年10月より ②城原自治会地域	34,800	24,800
交通弱者支援事業 B 「買い物ツアー」	①上記Aタクシー（利便性）では満たされない孤独感を癒すためにグループで行楽を兼ねた「買い物ツアー」で充実を図る ②地域の65歳以上の高齢者 ③参加料金は300円	①6年6月より ②城原自治会地域	385,200	245,200
花畑運営事業支援	①協働作業でのコミュニケーション向上を狙う。 ②地域住民全員 ③地域内の耕作放棄地を花畑にするための協働作業	①6年4月より ②城原自治会地域	635,200	235,200
若年層支援事業 (幼児音育教室) 準備	①佐賀県の里山の自然の音を基本に、偏差値向上を優先ではなく、音の楽しさを学ぶ幼児向け教室運営の準備 ②地域内及び通室可能家族 ③広報活動（看板作成等）	①5年10月より ②城原公民館	100,000	100,000
情報誌リニューアルの準備	①リニューアルにより若年層（子育て世代）の地域活動への参加向上のきっかけづくりを目指す。 ②城原地区及び関連所 ③外部からのデザイン指導	①6年4月より ②城原地域 関連所（者含む）	200,000	200,000
計			1,355,200	805,200

(別記2) 次年度繰越活用見込み

○次年度に繰り越した寄附金の活用見込み

事業名	具体的な事業内容 (予定) ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所 (見込み)	事業費の 支出見込み額 [単位:円]	うち寄附金 活用見込み額 [単位:円]
交通弱者支援事業B 「買い物ツアーア」	①利便性だけでは満たされない孤独感を癒すためにグループで行楽を兼ねた「買い物ツアーア」で充実を図る ②地域の65歳以上の高齢者 参加料金は300円 ③	①6年6月より ②城原自治会地域	400,000	300,000
新情報誌をリニューアルし発行	①リニューアルにより若年層(子育て世代)の地域活動への参加向上のきっかけづくりを目指す。 ②城原地区住民及び関連所社 ③地区OB及び佐賀県事務所(東京・大阪)に年間情報誌を設置して情報発信	①6年4月より ②城原地域 関連所(者含む)	300,000	200,000
若年層支援事業 (幼児音育教室)	①佐賀県の里山の自然の音を基本に、偏差値向上を優先ではなく、音の楽しさを学ぶ幼児向け教室運営の準備 ②地域内及び通室可能家族 ③年間で各月2回プロの演奏者による教室運営の支援	①7年4月より ②城原公民館	800,000	500,000
公民館手洗いの改修支援	幼児も怖がる旧式の手洗い場の改修工事支援	①7年度中 ②城原公民館	1,500,000	150,000
歴史・文化向上	地域活性化を目指し、古代からの歴史地としていわれのある地点を地図におこして看板を作成する。	①7年度中 ②城原公民館前	1,500,000	1,319,069
計			4,500,000	2,469,069

(別記3) 寄附金活用額

【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B)		4,234,752
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	3,597,067
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	3,571,650
	前年度控除額（県事務経費）還付分	25,417
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	637,685

【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)		1,765,683
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	805,200
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	960,483
	返礼品等の調達に係る費用	647,483
	返礼品等の送付に係る費用	120,000
	広報に係る費用	52,000
	事務に係る費用	141,000

佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②) 2,469,069

## ■直近の収支報告書掲載箇所（ホームページURL等）

<https://fields.canpan.info/organization/detail/1591626237#attached>